

# 半自動梱包機 G K R-900 の説明書



用途：各種梱包、結束（タイヤ、ホイール、木材、段ボール箱、新聞紙など）

型番	G K R-900
電圧	100V 50HZ/60HZ共通 300W
外形寸法	幅840 x 奥行530 x 高さ720 (mm)
重量	60kg
引締力	3~50kg
梱包能力	約3秒/1結束
対応PPバンド	9~15.5mm幅、中心が20cm $\varnothing$ 各バンドメーカーに対応
梱包可能サイズ	最小：8センチ 最大： $\infty$ (特に制限はございませんが荷台(天板)をはみ出すと支えが必要です。)
動作音	75 d b

株式会社グランテクノ

TEL:03-6658-5655 <http://mopack.jp/>



①「主電源」をONにして、約20～30秒でヒーターの準備が完了します。(上がOFF、下がON)

②「送り調整ダイヤル」は、送られるバンドの長さを調整します。

③「引き締め調整ダイヤル」は、梱包時のバンドの縛りの強弱の調整です。

(一気にダイヤルのメモリを上げずに、少しずつ調整して下さい。トラブルの原因になります。)

強く縛れば縛るほど、バンドを引っ張るローラーが摩耗しやすくなります。できる限り弱めに縛る方がローラーが長持ちします。

④「圧着時間ダイヤル」は、ゆるく縛る時は短く、きつく縛る時は長めに調整してください。長めに調整すると、よりしっかりと圧着し、バンドが切れにくくなります。

⑤「送り/リセット」ボタンは、通常時は押すとバンドが出てきます。バンドが抜けてしまった時や、梱包失敗時に押すとバンドが切られ、もう一回押すとバンドが送り出されます。

⑥「ヒーター温度ダイヤル」は、バンドの接着部分の熱量を調整します。PPバンドの厚みやメーカーに合わせて調整する事ができます。

バンドがくっつかなくなった時、温度調整で解決できる可能性があります。

ヒーター温度は、高すぎても低すぎても溶着しません。失敗したPPバンドの溶け具合を見て、調整して下さい。

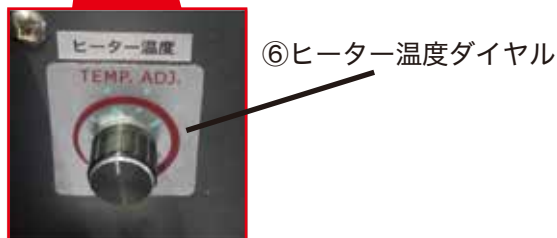
写真見本のバンドとバンドの溶着部分を手で

剥がしてみて、すぐに剥がれるようなら

調整して下さい。(新品出荷時のものは、

基本の適温に設定してあります。)

不必要にいじらないで下さい。)

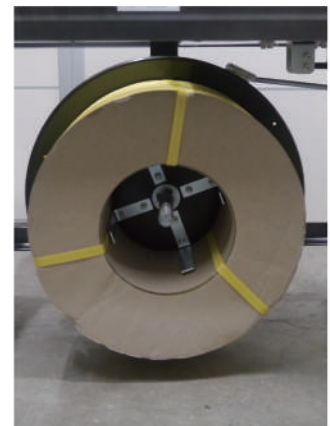
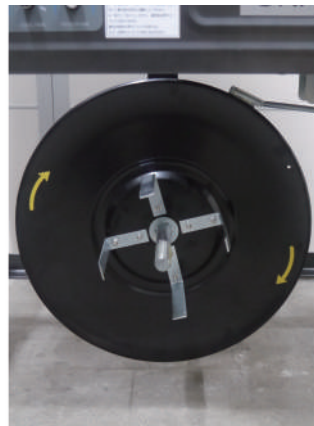


見本：バンドの溶着部分





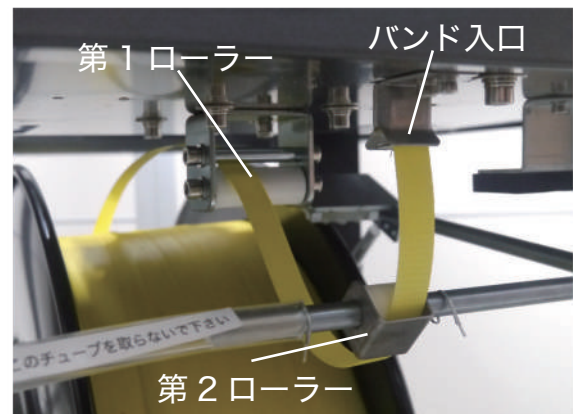
①中心のネジを外し、黒い円盤を外します。



②バンドの先端を矢印の方向（時計回り）に合わせ、バンドをセットして下さい。  
黒い円盤と中心のネジを戻します。



③バンドがバラバラになると大変ですので、セット後、バンドを縛っている3箇所の梱包をハサミでカットして下さい。



④写真の順番通りに、バンドの先端を第1ローラー、第2ローラーに通していき、最後にバンド入口に差し込んで下さい。

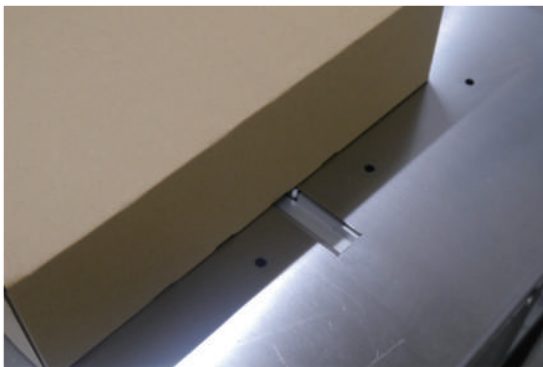


⑤電源を入れ、送りボタンを押して天板の中央レールからバンドが出てくればOKです。  
(バンドが曲がっていたり、よれていた場合は、上手くバンドが入っていきません。  
その場合、ハサミでバンドの先端を切って整えて下さい。)

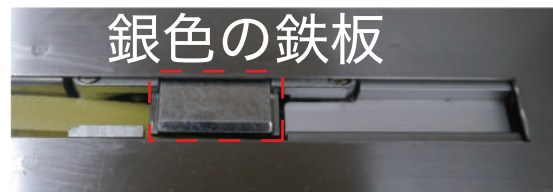


①主電源をONにします。

約 20 ～ 30 秒ヒーターが温まるまで待ちます。  
引き締め調整が極端な設定になっていないか  
確認をします。



②荷物を天板に載せます。この時、銀色の鉄板が  
完全に隠れるように載せて下さい。



③バンドの先端を持ち、バンドを  
右側から荷物の下に差し込みます。

奥まで平行にレールに沿って差し込むのが  
ポイントです。

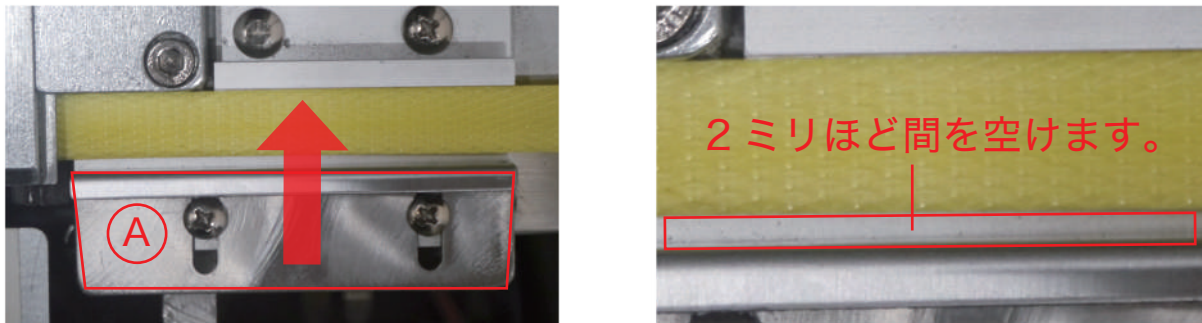
④バンドの先端が、銀色の鉄板の下のスイッチに  
当たると、バンドを自動で引き締め、カット  
されて溶着し、次のバンドが出てきます。  
指を挟まないように、ご注意ください。

## 15.5 ミリ幅以外のバンドを使う時。 半自動梱包機GKR-900

出荷時は、15.5 ミリに合わせてあります。12 ミリや9 ミリのバンドなどを使う場合は、以下の調整をして下さい。

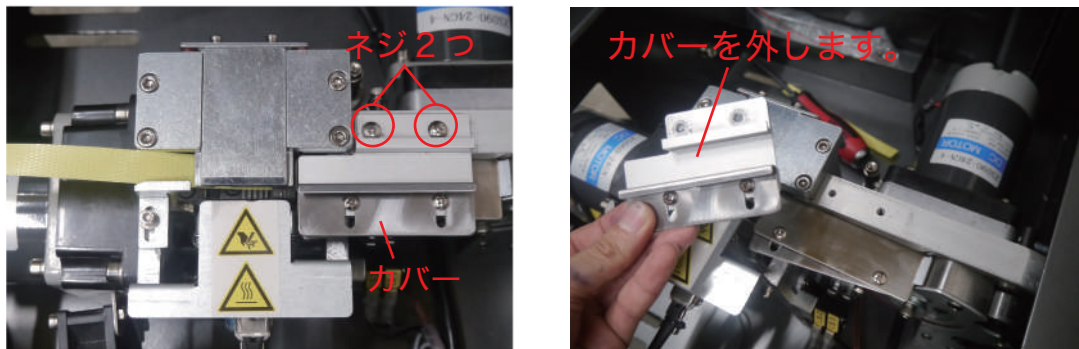


①2つのネジをプラスドライバーを使って、ゆるめます。

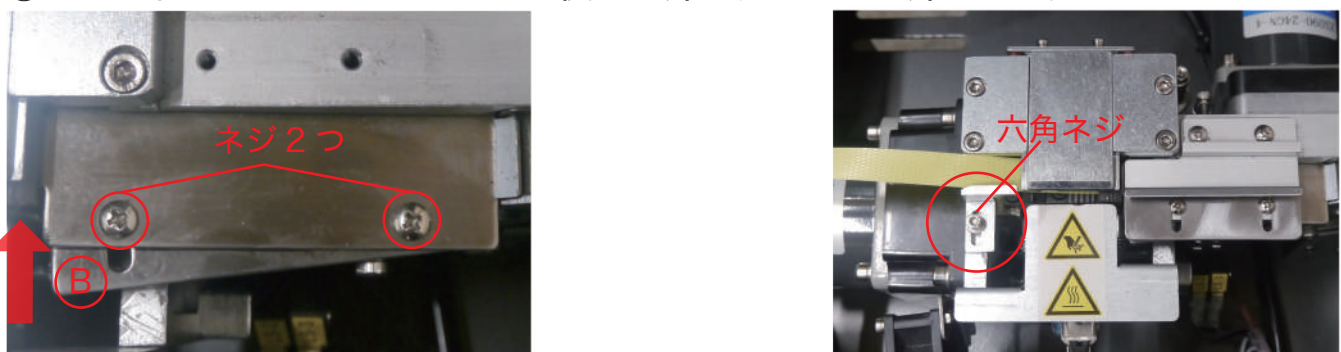


②Aの板をバンド幅に合わせて、調整します。(2 ミリほど間を空けて下さい。ぴったりですと、バンドが差し込みにくくなります。)

2つのネジを締めて、元に戻します。



③2つのネジをプラスドライバーを使って外し、カバーも外します。



④ネジ2つをゆるめます。  
Bの板を矢印方向へ押して、  
通したバンドの幅に合わせ調整します。  
(ぴったりでなく、少し余裕を持たせて下さい。  
ぴったりすぎると、バンドが入らなかったり、  
詰まったりします。)

調整後、ネジを2つ締めて戻し、  
③で外したカバーも元に戻します。

⑤六角ネジをゆるめる。  
(六角レンチ3番を使います)  
出てくるバンドの幅を調整し、  
六角ネジを締めて戻します。